

～秋を満喫する散策をします～

宇治平等院と万福寺

関西地区懇主催の日帰りの旅です。平等院見学と黄檗山万福寺の普茶料理を組み合わせた、ゆったりペースの散策の旅です。

世界遺産の宇治平等院が修復され、人気を集めていますので、それにあやかり見学します。

万福寺は、江戸時代初め 1661 年に中国から渡来した隠元禪師が創建したもので、黄檗宗の総本山です。

普茶料理とは、この隠元禪師が日本に伝えた中国式の精進料理です。三百数十年の伝統と風味が賞味できます。

昼食後は自由行動で伏見の町散策を予定します。

期 間:2017年 10 月 14 日(土曜)

集 合:京阪宇治駅 10 時 10 分

JR 宇治駅は離れているので京阪を利用

経 路:大阪方面からは、京阪淀屋橋駅 9 時 10 分発出町柳行き特急で中書島駅下車、宇治行きに乗換え。中書島から宇治まで所要 15 分。

京都方面からは、京阪で中書島駅で、宇治行き乗換え。

費 用: 普茶料理 8,060 円

(料理・税 7,560 円、万福寺入場料 500 円)

振込先: 口座番号 ゆうちょ銀行 14370

番号 33867591 大迫明子

ゆうちょ銀行以外から振込の場合

店番 438 口座番号 3386759

キャンセル: 3 日前まで申出は返金

参加費: ¥200 (ガイド料に充当)

自己負担: 交通費および平等院拝観料 ¥600

募 集: 30 名(申込者から抽選)

リーダー/申込先: 大迫明子 (メール又は電話)

mail: a-osako@royal.ocn.ne.jp

tel. fax: 0798-74-1512

携帯電話: 090-4765-0203

申込締切: 9 月末日

ルート 京阪宇治駅—平等院—京阪宇治駅—京阪黄檗駅—黄檗山万福寺見学と昼食 (普茶料理) 中書島駅で解散

伏見自由散策 昼食後自由参加:

寺田屋、黄桜酒造、月桂冠大倉記念館、伏見稻荷他

宇治平等院

世界遺産です。修復されて、人気を集めています。

おなじみの鳳凰堂(阿弥陀堂)は国宝で、阿宇池の中島にあります。極楽の宝池に浮かぶ宮殿を、現世に再現しものです。

鳳凰堂には、阿弥陀如来坐像(国宝)が安置されています。



秋の平等院
水面に秋の趣

黄檗山万福寺

万福寺は、江戸時代初め 1661 年に中国から渡来した隠元禅師が創建したもので、黄檗宗の総本山です。見どころ満載です。



万福寺山門 趣あり



万福寺大雄宝殿（重要文化財）



万福寺 襖絵

普茶料理（万福寺）



普茶料理（ふちやりょうり）は、本宗の開祖隠元禅師が中国から伝えた精進料理です。「普茶」とは「普く（あまねく）大衆と茶を供にする」という意味を示すところから生まれた言葉です。席に上下の隔たりなく一卓に四人が座して和気藹藹のうちに料理を残さず食するのが普茶の作法です。素朴、幽遠な禅味のある三百数十年の伝統と風味を賞味します。



普茶料理 座敷



万福寺 案内マップ

伏見自由散策

[月桂冠大倉記念館] お酒の博物館で、酒造りや日本酒の歴史を紹介しています。昔の酒造りの用具を、行程に沿ってみるができます。

もちろん試飲あります。



お酒の博物館 月桂冠大倉記念館

[伏見稲荷] 全国にあるお稲荷さん 3 万社の稲荷神社の総本宮です。

本殿は重要文化財です。本殿の屋根には、千木や鯉木はなく、神仏習合の様子を示しています。応仁の乱（1467年～）の際に焼失しましたが、明応3年（1494）に再建されました。軒下には、安土桃山時代の豪華な彫刻があります。



豪華な伏見稲荷

[千本鳥居 伏見稲荷] この付近が、神の降臨地である山の入り口です。

現世から神様のいる幽界へと続く門として多くの鳥居が建てられたのが始まりです。これらの鳥居は江戸～明治時代、参拝者の奉納により建てられたそうです。稲荷山全体の鳥居は、実数は1万基ほどで、現在も増えているそうです。

この真っ赤な鳥居は、数十センチほどの間隔で連なっています。珍しく、まさに圧巻です。鳥居を献ずることで願いが通るという信仰から、多くの方からの奉納があり現在のようになっているそうです。



願いが通る千本鳥居

[寺田屋 伏見の船宿] 文久2年（1862）4月の寺田屋騒動の現場。薩摩藩急進派有馬新七以下35名が関白九条尚忠と京都所司代の殺害を計画して集結しました。薩摩藩は藩士を鎮圧に向かわせたが両者乱闘となり、有馬以下9名が死亡しました。慶応2年（1866）正月坂本龍馬も伏見奉行所の捕方に襲われたが、難を逃れました。寺田屋は鳥羽伏見の戦い（1868年）に焼失し、その後再建されたものが現在の姿です。



幕末の歴史寺田屋騒動の寺田屋

[甘味 伏見散策でのひと休みに]

散策の終わりには、抹茶と和菓子で総仕上げ。街並みの風情によくあいます。

